

ゆく川の流ながれ（方丈記の二節）

鴨かもの長ちゆう明めい

ゆく川かわの流ながれは絶たえずしてしかももとの水みづにあらず

よどみに浮うかぶうたかたはかつ消きえかつ結むすびて

久ひさしくとどまることなし

世よの中なかにある人ひとと住家すみかとまたかくのごとし

玉敷たましきの都みやこの中うちに棟まねをならべい夢あぶらを争あぶらえる